

## 技術者教育認定の重要性と高等専門学校 の役割

一般社団法人 日本技術者教育認定機構  
会長 木村 孟

高等専門学校制度創設 50 周年おめでとうございます。

日本が高度成長期に入ろうとする頃、高等専門学校制度が発足し、以来多くの優秀な卒業生が日本の産業、特に製造業の発展を支えてきました。技術者教育の面で、高等専門学校の先生方が日本の産業界に果たされた貢献には計り知れないものがあります。また、日本の学生だけでなく、アジアの途上国の学生の教育にも熱心に取り組んで頂いております。

日本技術者教育認定機構 (JABEE) は 2001 年度に認定を開始致しましたが、翌年度には 3 つの高等専門学校の本科 2 年、専攻科 2 年の学士課程相当レベルのプログラムが JABEE の認定を受けました。その後、順調に数を伸ばし、2011 年度の実績では、国立高等専門学校 51 校のうち 4 つの商船高等学校を除いた 47 校における 76 教育プログラムが JABEE の認定を受けています。大学を含めた 2011 年度までの学士課程の認定は累計で 171 教育機関、450 プログラムですから、高等専門学校は JABEE 認定に極めて積極的であると申し上げてよいかと思えます。

日本の大学における技術者教育が工学理論の習得に重点を置き過ぎていると言われる中で、高等専門学校の教育プログラムは本来の技術者を育成する教育を行っており、産業界から高く評価されています。2003 年から 2008 年にかけて OECD が実施した日本の高等教育に関する調査に基づいたレポート

(2009) では、高等専門学校の技術者教育レベルの高さと産業界、特に製造業への貢献が極めて高く評価されました。

JABEE が加盟している技術者教育認定団体の集まりであるワシントン協定が構成メンバーとなっている IEA (International Engineering Alliance) は、「エンジニア」を複合的な課題に取りくむ技術者であると定義しています。複合的な課題とは、複数の解が存在しうる課題、或いは解がないかもしれない課題のことです。エンジニアは、社会のあらゆる制約のもとで、複数の解の中から最善のものを提案することが求められます。そのために、エンジニアには専門技術のみならず、歴史、文化の素養も必要とされます。数学を始め基礎自然科学の知識が必要なことは言うまでもありません。社会がエンジニアに要求する役割は時代とともに変化していきます。JABEE は教育認定という手段を使ってその変化に対応した技術者教育の振興を目指しており、今後とも、高等専門学校の貢献が不可欠であることは言うまでもありません。

グローバル化の時代を迎え、技術者教育の国際的同等性の確保が重要となっています。例えば、アジアからの留学生は、母国に帰国あるいは他国に移住してエンジニアとしての職業に就く場合に、日本での留学期間中に認定プログラムによって技術者教育を受けたか否かを問われるケースが増加してきています。アジアの国々では、香港、日本、シンガポール、韓国、台湾、マレーシアがワシントン協定に加盟しています。インド、スリランカ、パキスタン、バングラデッシュが暫定加盟をしており、中国、タイ、フィリピン、インドネシアが暫定加盟に向けて準備中です。

日本の多くの若人たちが、国境を越えて働く時代が来ています。国際的に通用する技術者の育成を目指して、互いに協力しつつ頑張っていく行こうではありませんか。